

PTA 総会より

100名をこえる保護者の皆さまから参加をいただきました。令和3年度の主な承認事項は次のようなものです。

○PTA 会則の変更

＜相談役の設置＞

これまでのPTAの活動や経緯を踏まえた上で、PTA活動の本質や方向性について助言をいただくため
＜各委員会に総務が「担当総務委員」として加わる＞

各委員会での情報共有や連携がより強く円滑に進むようにするため

＜土曜活用について＞

従来の模擬試験に加え、学ぶことの意味や意義、自らの生き方やあり方について考える意識を醸成するために多彩な講演会、ワークショップの開催を行う。そのために特別会計を位置付けて実施していく。

○令和3年度PTA新役員

○令和3年度PTA活動報告

○令和3年度予算



令和3年度PTA総会 学校長あいさつ

「新しい時代の名門進学校を目指して」

高志中等教育学校長 上野 昌弘

GWを前に、4都府県に緊急事態宣言が出され、新潟県をはじめ多くの県、市町村でも感染拡大が広がり、また、変異ウイルスの出現など、新型コロナウイルス感染拡大の収束は未だ見えない状況が続いています。

そんな中、当校も13年目のスタート切り、新しい生活様式等コロナ感染対策をとりながらも、例年以上に創意工夫を凝らした学校生活、生徒会活動が展開されています。

文部科学省の方針により、コロナ禍においても、「子どもたちの学びを止めない」を合言葉に、昨年来、GIGAスクール構想の推進や、子どもの学び応援サイトの充実、経済産業省の「未来の教室プロジェクト」「STEAMライブラリ」の活用などが進められています。これらはすべて、ICTの効果的な活用により、オンラインでも一人一人の生徒の興味・関心や必要に応じた学習や学びができるようにという取組です。私は、国が整備しているこれらの教育コンテンツは、第二の教科書であると考えており、生徒、教員にも積極的に活用するよう働きかけております。ぜひ、みなさんものぞいてみてください。大変興味深いもので、私自身、わくわくしながら学べるコンテンツがたくさんあります。

さて、新潟市内では、これまでに17校の小中学校等で学級閉鎖があり、また、高校、特別支援学校等でも休校措置がとられたところがあります。

登校できないから、学習ができないではなく、そうした状況下においても、オンライン等での指導を行ったり、生徒自身が自ら必要な、効果的な学習を自主的に進めることができる環境整備や指導が求められています。

3月12日に文部科学省からGIGAスクールに関わる通知が3つだされました。

一つは、レジュメにあるGIGAスクールの一人一台端末の積極的な利活用にかかわる通知で、ここでは、目指すべきGIGAスクールの環境整備、運用、指導・活用がチェックリストの形で示されています。もう一つは、先回の市議会でも問題になりましたが、ネットワーク環境の安定にかかわる通知です。タブレットを配ったが、みんなで使ったら、回線が繋がらなくなったという現在の新潟市のような状況を回避すること指示したものです。

3つ目は、「GIGAスクール構想における高等学校の学習者用コンピュータ等のICT環境整備の促進について」というもので、GIGAスクール構想を現在の義務教育から後期中等教育、高校にまで広げていくことを指示した通知です。当校では、3年前にClassiを導入するさいには、そのシステムが稼働すること前提に、スマホかタブレットのご準備をお願いし、その後、学習や活動におけるICT活用の推進を踏まえ、一人一台タブレット端末等のご準備をお願いしてきました。

昨年度コロナ対応に追われ、前倒しの見切り発車のGIGAスクール構想等で、こうしたお願いを十分に浸透させることができず、本来、タブレット等で行う学習や活動をスマホで行っている生徒がいる状況があります。新潟市教育委員会に確認したところ、高等学校段階でも一人一台端末を実現したいという考えはあり、この6月議会に補正予算を提出するといっておりますが、実際に生徒にタブレットが支給されるには、まだ時間がかかりそうだ、との回答でした。

コロナ禍の経済的にも厳しい中とは存じますが、ぜひ、4年生、5年生の保護者の皆様には、タブレット、またはそれに準ずるノートパソコン等のご用意をお願いいたします。

また、準備が難しい場合、同窓会から寄贈されたタブレット、今後、新潟市より若干の補充があるともきいておりますので、それらの貸し出しも検討したいと思っておりますので、ぜひ、ご相談いただければと思います。

さて、前置きが長くなりましたが、このような状況の中で、令和3年度は、昨年度以上にClassiの活用を進められ、日々の学習記録、振り返りなどを適切に行い、活用している姿が見られております。自分の学習の記録を残し、定期考査などの結果と合わせて、自分の学習の仕方や時間などの改善を図ること、また、担任をはじめとする先生方とのコミュニケーションのツールとしても活用されています。

生徒会活動においても、全校集会ができない状況の中、新入生歓迎会のビデオ発表やデジタル議案書による検討、オンラインでの生徒総会など、ICTを使いこなし柔軟に対応する生徒たちの姿がありました。本日できなかった授業参観についても、特に1年生の授業については、近日中に、Youtubeの限定公開にて、授業公開する予定です。

最後に、本年度の当校の学校経営方針について、重点のみお話いたします。

すでにホームページでは公開してございますが、本日、資料としても配付しましたので、まだご覧になっていないかたは、のちほどゆっくりとご覧いただければと思います。

基本的な姿勢の一番目は、コロナだからこそ、創意工夫し、よりよいものを創り出していこうというものです。

現在、実行委員やリーダーたちの間で、急ピッチで体育祭の準備がすすめられています。GW明けには、全校での本格的な活動がスタートします。ソーシャルディスタンス1mという原則を掲げ、種目の工夫、創造の模索など、がんばっています。なんとか実現させてあげたいと思っております。

また、県外へのフィールドワーク関係についても、今の段階では、実施することを前提に準備を進めております。今後、コロナ感染拡大の状況を見ながら、実際に出掛けることが難しいと判断する可能性もあります。ただし、その際も、中止ではなく、当該地域とオンラインでつながり、インタビューしたり、見学したりできるようにして、ある程度のフィールドワークに準じた学びができるように旅行社等にもお願いしております。

二つ目は、先ほど来もしあげておりますICT活用の推進です。残念ながら、行政が進めるGIGAスクール構想は、ネットワーク環境、端末整備を含め、十分な学びを支える体制にはなっておりません。GIGAスクールのゴールは、あくまで、生徒たちが、将来的に、様々なICT機器やクラウドネットワーク環境などを、自分たちの目的に応じて効果的に、かつ安全に活用できる力を育てるとともに、今、必要な学力や学びを確実に身に付けていくための道具として使いし、成果をあげることにあります。

効果的な活用場面や方法を教育活動に的確に位置付け、実践の中で、学びを深めていくことを進めていきます。

3つ目は、SDGsの推進です。先日の生徒総会で、本年度の生徒会の基本方針にも掲げられたものです。視野を広げ、世界を知り、未来を考える窓口として、総合・探究だけでなく、各教科の学習や日々の教育活動の中で、意識させていきたいと考えております。

最後に、生徒の多面的な理解、生徒自身の自己理解と他者理解を進め、違いを認め合い、生かし合うことを学習や活動に意識づけていきたいと考えております。

例えば、模試による学力把握だけでなく、ベネッセが行う思考力調査や AIGROW などの資質・能力などの発揮状況を把握する検査を計画的に行い、自分の強みや魅力、適性などを意識しながら、進路選択や進路実現に取り組むことができるようにしたいと考えております。

創立13年目を迎えた高志中等教育学校は、名門進学校として、生徒が誇りと愛着をもち、保護者から信頼され、地域、そして、全国、世界からも認められるような確かな教育成果を上げていくことのできる、学校を目指して、着実に歩みを進めております。ぜひ、本年度も、当校の教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※この文は、当日の校長あいさつ原稿をもとに、PTA事務局がまとめました。